

～駅ホームの安全対策～ 曲線ホームの新井薬師前駅で ホーム隙間転落検知システムの実証試験を実施します

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林久）は、駅ホームの安全対策として、オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社（本社：東京都港区 社長：細井俊夫）が開発を進めているホーム隙間転落検知システムを使用し、曲線ホームにおいて列車とホームの隙間に転落したお客さまを発見するための実証試験を実施します。オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社の開発したホーム隙間転落検知システムを導入するのは、鉄道業界で初めてとなります。

本システムにより、列車停車中に列車とホームの隙間に転落したお客さまを高い精度で発見することが期待できます。

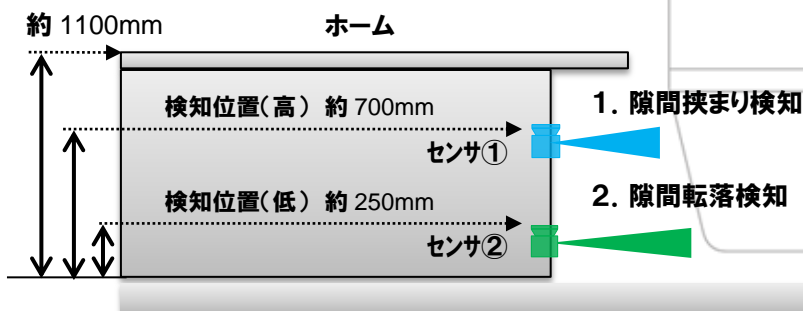
今後もホームの安全対策を進め、安全に駅をご利用いただけるよう取り組んでまいります。
詳細は、以下のとおりです。

【実証試験概要】

1. 開始日 2018年7月21日(土)
2. 実施駅 新井薬師前駅（所在：東京都中野区上高田 5-43-20）
3. 設置箇所 1番ホーム（下りホーム）の本川越方 2両分
4. 特徴 2台のセンサをホーム下に設置し、センサが検知した時は、ホーム上にある警報器の赤色灯が点滅するとともにブザーが鳴動し、運転士に知らせることで、列車とホームの隙間に転落したお客さまを発見します。
5. 検証内容 気象条件など、さまざまな条件下における影響について検証します。

【センサ設置イメージ】

ホーム下へセンサを2台設置し、異なる高さから水平にレーザを照射することで転落したお客さまを検知します。



■お客さまからのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL. (04) 2996-2888
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
[営業時間：平日9時～19時 土休日9時～17時]

以上